としまち研
各部会・委員会の次回開催予定

共同建替え部会 コーポラティブハウス部会	10月27日（水）
団地・マンション再生部会	10月26日（水）
人と暮らし部会	10月25日（火）
総務部会・広報部会 災害復興まちづくり支援委員会	10月21日（金）

としまち研会員の方であれば誰でも参加できます。また、部会で取り上げて欲しい内容、勉強会等がありましたら、事務局までお知らせください。

住まいとまちの相談は事務局へ

○お隣りも建替えを考えているようだが、共同建替えの声をかけるのはちょっと…。だれか間に入って調整をしてもらえないだろうか。
○そろそろマンション建替えの話が出てきているが、どんな形で検討を始めたらよいかわからない。専門家のアドバイスがほしい。　…など

住まいとまちに関するお困りごとがございましたら、まずはお気軽にご相談ください。

8/30（火）事務局・飛澤玲奈さんの送別会を開催しました

2002 年春から約 14 年半にわたり事務局スタッフとして勤務していただいた飛澤さんが８月末で卒業（退職）されました。これまでの感謝と新たなご活躍を祈念して、ささやかながら送別会を開催しました。参加された皆さんからは、退職を惜しむ声と同時に「大きく成長して、また戻ってきてね」という期待のエールが寄せられました。

飛澤さんは、休む間もなく、9/1 から新しい職場へ通勤されていますが、引き続き正会員としてとしまち研の活動に参加してくださるとのことです。どうぞよろしくお願いいたします。

飛澤さん。14 年半お疲れさまでした！

編集後記

事務局の岩ヶ谷です。飛澤さん退職のため、つぎの編集担当が決まるまでの間ピンチヒッターを務めることになりました。不慣れな編集作業ですが、見やすい紙面づくりを心がけたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

前号の編集後記で、飛澤さんが退職のあいさつを載せたところ多くの方から連絡をいただきました。「おいらのまち」を隅々まで読んでいただいているんだなーと感激した反面、これは隅々まで気を抜けないなと思った次第でありました。新体制になったとしまち研と「おいらのまち」を引き続きよろしくお願いいたします。　（事務局　岩ヶ谷）

〒101-0042　東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE２階
tel 03-5207-6277　fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tmk-web.com/
Facebook https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 ６２人　賛助会員 ３０人
編集発行人　平石郁夫
事務局担当　岩ヶ谷充

としまち研会報　第 83 号

おいらのまち

発行　NPO 都市住宅とまちづくり研究会　理事会

「あおい地区まちびらき」に参加

としまち研が 2015 年９月まで復興業務支援を行っていた東松島市のあおい地区では、2015 年９月までに自力再建用の宅地はすべて造成引渡しが終わり、ほとんどが住宅を新築・入居しており、2016 年７月にはすべての災害公営住宅が完成し、入居しています。

あおい地区では、既に、あおい一丁目自治会、あおい二丁目自治会、あおい三丁目自治会が設立され、各自治会を統括する「あおい地区会」が本年４月に設立されました。

9月 24 日（土）に「あおい地区まちびらき～青森ねぶたまつり～」のイベントが行われ、としまち研から７名が参加しました。イベントの場所は、あおい一丁目公園おまつり広場と東西に約 800m延びるメイン道路です。おまつり広場には屋台が出店されました。

当日は立花英樹さん（演歌歌手・東松島ふるさと復興大使）のコンサートで始まり、会場が和んだところで、「あおい地区まちづくり整備協議会」の解散総会に移りました。解散総会では、阿部市長をはじめ来賓の皆さんのご挨拶があり、あおい地区会の小野竹一会長から協議会の解散宣言がありました。その後、「青森ねぶた」がメイン道路を運行し会場を盛り上げました。

協議会で活躍していた皆さんは、相変わらず自治会や地区会で頑張っています。心配していた「あおいペットクラブ」は現在、会員が 16 名に増え、小学校にペットを飼うマナーについての標語をお願いしたところ、写真のようなポスターをたくさんつくってくれたとのことです。

今後も、あおい地区の皆さんと交流をもち、名実ともに「日本一のまち」を実現していくことに期待したいと思います。　（としまち研理事長 杉山昇）

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『一木会』としまち研　成島哲子

「ついに声がかかってしまった。きたーっ」て感じです。

毎月、ほぼ欠かさずに一木会に出席させていただいているからとも。全くもって住宅とまちづくりに関係なく、門前の小僧よろしく座しての拝聴。講師のお話は右から左に、そして忘れてゆくのみです。しかし継続は恐いもの。いつしか話が流れに沈み溜まっていたり、印象として残っているもの、様々な形を呈しています。雑学と決めての参加です。

８月の一木会は常連の谷岡さん（ご自称機械屋）が、右と左についてお話下さいました。あらためて考えると右左の言葉は右あっての左、左あっての右としか捉えられないものと気付かされます。男雛女雛は向かってどちらがどちら等と身近な日常にも右左は溢れ、猛暑に頭はグラグラでしたが、興味深いお話でした。一木会は毎月、専門的なお話からゆるいお話まで多岐に亘ります。終了後の懇話会では、恒例の一分間スピーチ、話力の鍛練です。三時間余りの緩く豊富な話題の詰まった会です。是非皆様楽しんでご参加くださいますように。　**※次号の『ひとりごと』は飛澤玲奈さんです。お楽しみに。**

一木会ご報告（原則、毎週第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第 252 回一木会（2016．8．4）

けやきガーデン奥沢の建設組合時代の理事長であり、管理組合の初代理事長の谷岡 研氏に「身近な「右と左」」をテーマにお話しいただきました。

谷岡さんからはじめにテーマを伺ったときは、どんなお話をしていただけるかな？と思っていたのですが、これが身近で、深い、面白いお話でした。

☆第 253 回一木会（2016．9．1）

八木澤壯一先生に「火葬と火葬場の新しい兆し」というテーマで、火葬と火葬場の歴史的変遷と日本各地と世界の火葬場についてお話いただきました。その後の懇親会では、関西の骨壺と関東の骨壺は大きさが違うがどうしてか、などの質疑応答も含めて、世間ではあまり教えてもらえない知識をいただきました。

今後の一木会予定

☆10 月（10 月 6 日）【第 254 回一木会】

株式会社サイエンスクラフト代表取締役の竹本加良子さん 「住民による防災まちづくりの推進」

☆11 月（11 月 10 日）【第 255 回一木会】

マンション管理士の飯田勝啓さん 「（仮）民泊の話」 と交渉中。

コーポラティブハウス情報交流会【大規模修繕編②】開催

9月 10 日（土）に第二回コーポラティブハウス情報交流会を開催しました。今回は「建物の劣化とその補修方法」というテーマで、としまち研会員：株式会社Nプランニング代表の成田さんより、マンションの大規模修繕工事における代表的な劣化箇所とその補修方法について、スライドを用いて分かりやすく解説していただきました。

参加者からは、普段の生活の中で気になった建物の劣化箇所についての質問や、これから大規模修繕を迎えるにあたっての事前準備に必要なこと等について意見が出されました。すでに一回目の大規模修繕工事を終えたコーポラティブハウスの入居者からは、自身の経験を踏まえ、他の参加者にアドバイスをする場面も見られ有意義な意見交換を行うことができました。次回（最終回）は 11 月上旬頃の開催を予定しています。どなたでも参加可能ですので、興味のある方はぜひご参加ください。　（としまち研事務局　岩ヶ谷充）

～コーポラティブハウス情報交流会に参加して　けやきガーデン奥沢　永井隆～

交流会に参加して大規模修繕の時に、何を準備しなければいけないかが具体的に分かりました。これまで住んできたマンションで、専門委員会の立ち上げ、管理会社からの説明、修繕工事部分の確認と工事内容の検討、工事会社の選定等といろいろな経験をしましたが、今回の話を聞いて一番考えたことは、アドバイスをしてくれるコンサルタントを頼むべきかどうかです。

管理会社は仕事取りたさに多少オーバーに話す部分があるので、それを真に受けるかどうか。お金があれば早めの対策も良いと思いました。しかし、修繕工事部分の先送り箇所の判断については素人には分からないので、コンサルタントが必要になります。これについては、コンサルタント費と余分な修繕費との兼ね合いだと思います。

もう一点は、工事会社を選ぶときに、建物を建てた会社にするのが良いのかどうか気になりました。この二点が、けやきガーデン奥沢で大規模修繕の時期が来た時に迷うところと感じています。

神田縁起市 パート１『大人縁日』に参加しました。

神田駅東連合町会主催の「神田縁起市」が、8月 26 日（金）・27 日（土）旧今川中学校跡地で開催されました。今年からパート１（前夜祭）として『大人縁日』が26日（金）17時から行われ、としまち研（東松下町）からは、すっかりおなじみ（？）の「海鮮チヂミ」の調理・販売で参加しました。

平日のイベントと言うこともあり、人手確保に少し苦労しましたが、飛澤さんを含め 4 人、それと、なぜか自分から手伝いに名乗りを上げた石坂家次女の計５人で約 100 人前を調理・販売しました。

当日は、神田駅周辺の飲食店の方々を中心に多くのお店が出店されましたが、金曜日午後５時開始のためか前半はお客さんが少なく、なかなか売れないストレスを感じましたが、後半は二度三度と買いに来て下さるお客様がいることに気づき嬉しい思いもしました。

・・・もしかして来年もやるのかな？　（としまち研理事　石坂堅志）

常総市水害から１年、今年は大丈夫か！？

昨年９月の関東・東北豪雨で鬼怒川が氾濫し、甚大な被害のあった常総市若宮戸地区で、堤防の第１期工事が完了し、８月 27 日に国交省下館河川事務所が堤防見学会を開きました。参加者は地元住民と神達常総市長ら約 50 名。としまち研からは杉山理事長と三浦が参加しました。

今回完了した堤防は高さ 3.2m 長さ 940m の第１期部分で、去年の豪雨での鬼怒川の推定水位より約２メートル高い 4.8 メートルにする２期工事を来年度中に完成させるとしています。さらに、その上流約 600m の工事も計画されています。しかし、昨年の越水で住宅地側の土手が削られて堤防が崩れた様子はテレビで報道され、多くの方が記憶していると思います。地元の逆井さんたちは、その処理が不十分なままでは繰り返される恐れが残ると指摘しますが、担当者は「規定でやっている」と取り合いません。これでは安心な街にはなりません。

午後からは常総市役所で約 30 名が参加し、水害１周年シンポジウム『9.10 ～あの日を忘れない』が開かれました。「あおもりの川を愛する会」水木靖彦さんが県の土木部時代の体験から得た「越水に耐える堤防への想い」と題した講演は、越水に対して耐久性の高い堤防を復活させる方策を具体的に示す、非常にレベルの高いものでした。国交省の担当者が言う「越水を想定していない」堤防づくりの弱点に対する理論武装になったのではないかと思います。　（としまち研理事　三浦史郎）

どんぐりの苗木、ふるさとへ

高見澤先生の呼びかけで、バスで福島県いわき市豊間に行き、復興状況の視察とどんぐり拾いをしました。あれから？年。自宅のベランダの鉢で育て枯れてしまった人もいましたが、苗木として育ったものもありました。

8 月 21 日（日）に豊間の復興住宅（集合住宅）の集会所に苗木をお届けしました。団地内にしばらく仮植えして、11 月 20 日（日）の植樹会で 2000 本の苗木を、高さ 10.2m・幅 50m・面積 17ha の防災緑地に植えるようです。写真は、豊間の自治会長さんに苗木をお届けしたところ。　（としまち研理事　杉山洋子）